

開館時間 (火)～(金) ▶ 9 時～17 時

(土)・(日) ▶ 9 時～16 時

休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

■問い合わせ 多久市立図書館 ☎75-2233

【1 月の休館日】

1 日(木)、2 日(金)、3 日(土)※年始休み

5 日(月)、12 日(月)、19 日(月)、26 日(月)、

31 日(土)・月末整理)

図書館へ行く!

～Taku City Library

Information～



著・林 真理子

(講談社)

帯に生きた家族の物語

戦後の着物の黄金時代に、次々と帯を考案し天才と呼ばれた男がいました。娘が語る父の偉大さと意外なあたたかさ…。京言葉で語られる一族の物語。着物についてエッセイも多く書いている、林真理子さんの最新作です。



著・藤川 智子

(ほるぷ出版)

江戸時代のお店屋さん。ちょっとのぞいてみましょう。人形屋や菓子屋など、ほかにもいろいろありますよ。お店の様子をわかりやすい絵で紹介した絵本です。さて、唐物屋とは何を売っているお店でしょうか?



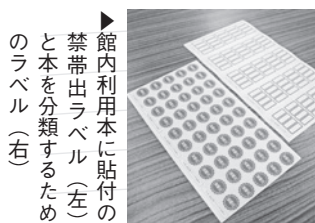
著・はた こうじろう

(ほるぷ出版)

むしとりって夏のもの? いえいえ、冬でも楽しめます。冬の虫で思い浮かぶのは、ミノムシくらいですか? 思いのほか、いろいろいるみたいですよ。虫たちは、どうやって冬を過ごしているのかがよくわかる絵本です。

「おすすめの新着本」

図書館からのお知らせ



▶ 館内利用本に貼付の禁帯出ラベル(左)と本を分類するためのラベル(右)

【図書館豆知識】
図書館の本には、ラベルと呼ばれるシールが貼ってあります。ラベルには、本の内容によってあらかじめ決められた数字を記入しています。その数字は「日本十進分類法」といいます。
この分類法は、日本国内の公共図書館や学校図書館で、広く活用されています。市立図書館では、その数字の後ろに作者の頭文字をカタカナで記入しています。番号順でアイウエオ順に並べていくと、必然的に同じ内容で作者別の本が集まるようになります。本を探す時に便利です。

▶ 本の内容ごとに番号分けされて貼付されたラベル

児童向き

◆デコ・カップケーキ

(Junko)

◆ルーシー変奏曲

(ザール)

◆月へ行きたい

(松岡 徹)

◆おいぬさま

(荒戸 里也子)

◆ほんをひらいて

(モリスン)

◆季節の紋切りあそび

(ブティック社)

◆カンタン1分おうちパン

(浜内 千波)

◆サラバ!

(西 加奈子)

◆飛びはねる思考

(東田 直樹)

◆女王

(連城 三紀彦)

一般向き

「その他おすすめの本」

市交際費の支出状況

▶平成26年度 1 月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分 累計	2 31	10,000 96,900
見舞い	今月分 累計	0 3	0 30,000
御 祝	今月分 累計	5 41	48,800 186,200
賛 助	今月分 累計	1 4	4,800 20,252
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累計	1 40	3,120 109,841
会 費	今月分 累計	4 30	18,000 155,500
その他	今月分 累計	0 1	0 3,400
合 計	今月分 累計	13 150	84,720 602,093

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

「一年の計は元旦にあり」といいますが、皆さんはどのような計画や目標をお持ちでしょうか。私は「ありがとう」の言葉をもっとたくさん言えることができるような一年にしたいと思っています。「ありがとう」と感謝が増えると、心があたたかくなる幸せな時間も増えるはず。そこで、私は、知人に教えてもらった、小さな習慣を続けてみようと思いました。それは、その日の出来事の中から、三つの「感謝すべきこと」を書き出すことです。この習慣を続けることで、今よりもう少し、幸せを感じることもが多くなると思います。

三つの感謝すべきことは、大きなことではなくて良いのです。小さなこと、たとえば私の場合は、洗濯物が取り込んであったとか、玄関の履物が揃えてあったとか、植木鉢に水がかけてあったとかそんな平凡なことです。

時には、三つの感謝すべきことがなかなか出てこない日もあります。それでも、書き出します。すると、感謝の気持ちが出ない日の心の中は、「〇〇してくれて当たり前」、「やって当たり前」、「そんな当たり前前に捉われてしまっている自分がいることに気づかされます。」

「ありがとう」と感謝することは、当たり前前に感謝することです。与えてくれた人の行動や、想い、願いを素直に感じ取れる自分でありたいと思います。

社会教育指導員
野中 久美子

人権教育 No. 213

とむに生

「ありがとう」